



アエファ AEFA通信

NPO法人 アジア教育友好協会

〒105-0014 東京都港区芝3-3-10 芝園オーシャンビル8F

電話 03(6426)0720 /FAX 03(6426)0721

AEFA初！テレビ会議で交流授業を行いました！ ～島根県浜田市立宇野小学校～

1月26日に、SKYPE(インターネットを通じたビデオ通話)で、ベトナムや交流校のマンスリー小学校を紹介する授業を島根県浜田市立宇野小学校の皆さんに行いました。宇野小学校は、全校児童9人の、こじんまりとした学校です。「子どもたちの世界を広げたい・・・」と願う熱心な校長先生はじめ先生方のご指導の下、元気に仲良く学んでいます。2008年夏より、ベトナム中部高原のマンスリー小と交流を始めました。この授業では、皆さんからベトナムやマンスリー小についての質問がたくさん出ました。「ベトナムではどんな花や野菜があるんですか?」「ベトナムの有名なお祭りはなんですか?」「マンスリー小の皆さんは仲がいいですか?」・・・などなど。ベトナムの民族衣装を着たAEFAスタッフが、写真や雑貨をカメラに向けて紹介しながら、質問に答えます。宇野小の皆さんも自分たちの学校を紹介。「私たちは、ベトナムの友達と交流できて、とてもうれしいです。ひとりにできることは、小さなこと。でも、人の役に立ちたい、と思う気持ちは、きっと大きな力になります。これからも、自分にできることを考えていきたいです」と温かなメッセージも届きました。

ベトナムのお正月(テト)の写真をカメラを通して紹介



宇野小の皆さんからモニターを通して質問が届く

モニターを通して質問が届く

ら、質問に答えます。宇野小の皆さんも自分たちの学校を紹介。「私たちは、ベトナムの友達と交流できて、とてもうれしいです。ひとりにできることは、小さなこと。でも、人の役に立ちたい、と思う気持ちは、きっと大きな力になります。これからも、自分にできることを考えていきたいです」と温かなメッセージも届きました。

この2日後、宇野小からマンスリー小の友だちにと、素敵な絵や手作りのおもちゃなどの作品と、子どもたちが育てたサツマイモの売上金で購入した学用品が届きました。2月上旬にAEFAスタッフがマンスリーを訪問、みなさんの優しい気持ちを届けました。AEFAは今後もSKYPEを活用して、出前授業などを積極的に行いたいと思います。



宇野小から届いたマンスリー小あて作品



モニターに映ったAEFAスタッフと記念撮影

「ラオス・ナトゥール小学校は、今。」佐川旭専務理事による出前授業 ～福島県矢祭町立東館小学校～

1月26日に、福島県矢祭町東館小学校にて、建築家 佐川旭氏(AEFA専務理事)による出前授業が行われました。同校は2008年4月より、ラオスのナトゥール小との交流を開始。福島県出身の佐川氏が、ナトゥール小の校舎を設計、開校式にも参加したご縁から、今回の出前授業につながりました。



佐川氏による特別授業

テーマは「ラオス・ナトゥール小学校は、今。」佐川氏は、まず戦争直後の日本の様子をスライドで紹介。子どもたちは「日本がこんなに貧しかったとは」と驚き、中には「ぼくたちは、おじいちゃんやおばあちゃんがいっしょけんめいはたらいたから、こんなにまんぞくなくらしができています。今度は、ぼくたちが(誰かを)すくうばんだってことです」という感想を持った子も。

次に、ナトゥール小の友だちのありのままの姿を伝えました。服も教材を買うのもままならない生活の厳しさ。集中してお話に聞き入る子どもたちは、自分たちとの境遇の違いに驚くとともに、さまざまな気づきを得たようです。また、授業に先立ち、同じアジアに住む友だちを支援しようと、地域ぐるみで文房具を集めていました。児童自ら町役場や銀行を訪問して依頼するなど、活動しました。ダンボール4箱分ものたくさんの文房具を託された佐川氏は「必ずナトゥール小の友だちに届けます」と話しました。



福島民報 09.1.19



文房具の贈呈式



AEFAを題材に・・・「社会科研究授業」～横浜市立二俣川小学校～

1月14日、横浜市立二俣川小学校6年1組にて、「社会科研究授業」が行われました。公開授業で、旭区の先生方が多く参観されました。



担任の宮野憲一郎先生は、この日のために半年

宮野先生(右)がAEFA谷川を例に取り上げ、授業を進める

前からAEFA事務所を訪れ、準備を進めていました。テーマは「AEFAの国際協力」。AEFAの活動・理念・ラオス カムサムバド小との交流を取り上げ、子どもたち自ら国際協力への取り組みを考えます。「AEFAは、単に学校をプレゼントする

のではなく、村人たちが学校建設を手伝って働いている。これはなぜか？」と児童たちに討議させました。「学校はプラモデルと似ている。出来上がったプラモデルをもらうより、お父さんと一緒に作ったほうが嬉しい。学校も自分たちで協力して作れば大切にすし、達成感がある。もし壊れても直せる。」「日本広しといえど、カムサムバドを支援できるのは、6-1だけ！」等、たくさん



さんの意見が活発にしました。参観の先生方も「間接的な学習でなく、解答が人の中にあり、身近に感じるいい課題」「0から教材を作る授業だった」との感想・意見がでていました。

生まれてくる幸せは、同じ ～倉敷市立水島中学校からの作品&感想文～

2008年11月。大きなダンボール箱が届きました。中を開けると・・・倉敷市立水島中学校の皆さん手作りの、ベトナムのグエン・ティ・ミンカイ小学校あての素敵な作品が次々出てきました。たとえば、英語のアルファベットのかるた。「ベトナムには教材が少ないと聞いたので、役立ててもらおう」という気持ちをもって、自分たちで考えながら、丁寧に作ってく



れました。他にも、日本の昔話「さるかに合戦」を英語に翻訳し、美しい紙芝居に仕上げました。これらは2月にAEFAスタッフがベトナムに持参、紹介してきました。

10月には、ベトナムNGOスタッフのホアンさんが出前授業で同校を訪問。生徒さんからの感想文を紹介します～「最初みんなで歌をうたった。その後「さるかに合戦」の英語版紙芝居のビデオでベトナムでも子どもたちがその歌を歌っているのを見て、僕たちもベトナムの子も同じなんだ、みんな同じ世界に住んでいるんだと思えた」「ベトナムの子が、毎日、掃除・食事作り・畑仕事に追われていて、義務教育も小学5年生までと聞き驚きました。私たちは、当たり前のように教育を受けていますが、それは当たり前ではないと思い知らされました。」「人は、一生懸命生きると、生まれてくる幸せというのは、形は違うけど同じ、と思いました」

* 出前授業の様子は、AEFA通信第15号に掲載しています。



カラフルでかわいい、手作りの英語のかるた

ベトナム南部3小学校で合同運動会 ～AEFAスタッフ出張レポート～

2月4日、チャビン省ティウカン郡にてAEFAが建設支援した3校：フーカンB、フートゥーA、タンホアA校による合同運動会を開催。参加した子どもたちの表情は、真剣そのもの。かけっこはタンホアA、綱引きはフートゥーA、出し物（踊り等）はフーカンBがそれぞれ優勝しました。



日本綱引き連盟様寄贈の綱

*綱引きの綱は、日本綱引連盟様よりご寄贈頂きました。有難うございました！

AEFAより 重要なお願い

フレンドシップ校の皆さまより、アジアの学校にと、これまで文房具等物品のご寄贈を度々頂戴しております。ご厚意大変有難いですが、アジアへ運ぶ機会と量に限りがあること、また国によっては中古品の受け入れを禁止していることに鑑み、**2009年度(4月)より物品の受付は停止**させていただきたく、ご理解の程宜しくお願い申し上げます。

ただし、あらゆる物資が不足している事情に変わりはなく、子どもたちの気持ちを伝える、一つの大切な方法でもありますので、状況に応じて特別なケースは配慮したいと存じます。その場合には、ぜひ事前にAEFAに相談していただくよう、お願い申し上げます。

なお、アジアの学校への寄付金は、是非今後とも宜しくご協力ください。